



印西市議会議員

自民党 Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

米井しげゆき よねい

未来を育む子供たちのために

ワクチン接種がはじまり、ウイルスとの戦いも新しい局面に入りました。これからは感染対策とともにワクチン接種をして頂く二正面作戦の成果を出すことが大事です。対象となる方が増えてくるなか、印西市でもスムーズな接種が実現できるよう、そして多くの方がワクチンを接種され、街がかつての賑わいを取り戻すまでの支援を拡充するよう、関係各所に全力で働きかけてまいります。

今やらなければならない事は今やる。今作らなければならないものは今作る、打てる手立てはすべて打つ。今、当たり前前が将来も当たり前で在り続けられるよう、「我が印西のため」目の前の課題を1つ1つ地道に解決し、未来を育む子供たちがこの印西に誇りを持ち続けられるよう、責任世代の代表として市政発展に努めてまいります。



米井 重行

小規模校に新たな存在意義を！ 今、問題の大規模校 適正化！！

小規模校の良さをアピールし、保護者の責任において、学区外から小規模校への受入を、積極的に行うことは出来ないでしょうか？



小規模校に新たな存在意義を見出すことは出来ない物でしょうか？ 子供たちの可能性や明るい未来を切り開くためには、大人たち、そして行政のきめ細かな配慮のもとで、教育環境の整備をする必要があると考えます。小規模校だからこそできる教育を継続することにより、小規模校を希望する親御さんや大規模校になじめない児童たちを救うことができます。

そして、学校適正配置問題も、このような視点を取り入れることにより解決できると私は信じています。小規模校の良さや、小規模校への学区外就業の現状を広く市民に周知柔軟に物事を進めていく事を提案します。



紹介 皆さんの声を応援します！

有志のグループが発足し署名活動を行っています。

小規模特認校制度の導入、過少規模の解消

学区に関係なく特認校に指定された小規模校に就学できます。

ゆとりある学校を選べるんだね！



スクールバスを運用した柔軟な学区外就学を実施し、過大規模の解消

通学手段を整え、過大規模の教育環境を改善。



学校を選べる選択肢を増やすための署名活動

過小規模を解消し、小規模校の存続と過大規模を解消し、大規模校の適正規模化



より詳しくお知りになりたい方はHPをご覧ください。
(活動を随時更新しています。)

印西市・学校適正配置を考える会
<https://inzaitekisei.wixsite.com/-site>



■ 米井しげゆき一般質問(6月10日) 令和3年第28回定例会 ■

米井しげゆき 議会活動レポート

コロナ禍での経済対策 飲食店・個人事業主救済を!

前回、私が
発案し大好評だった

いんざい応援クーポンに続き今回はプレミアム商品券の準備を

質問 米井:私はこのコロナ禍に大変な思いをされている市内のお店から様々な声を聞きました。昨年度実施したクーポンも大変喜ばれていましたが、今回は市民の皆様にもご協力を頂く形でプレミアム付き商品券を発行してみたいかでしょうか?

答え 先程、市長が申し上げましたとおり、現在、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、市にとりまして、より効果的で適切な経済対策事業の検討を行っているところでございます。

再質 米井:地元経済対策プレミアム付き商品券は、クーポン券と同じ予算でも、より大きな経済効果、波及効果が期待が出来ます。今回は市民の皆さんの協力を頂き、経済波及効果をうながし、冷え込んだ経済の対策をします。印西市がプレミアム付き商品券を発行することで、商品券がきっかけとなつたプ

ラスの消費や、商品券に上乗せして支払った消費が生まれます。ネット通販でクーポン券は使えません。ネットで買っていたものを地元で買うことで、**地元の小売店や飲食店を通じて印西市の地域経済にお金が使われます。**

ワクチン接種が始まった今、このタイミングで、コロナウイルスで長引く**自粛生活の閉塞感を和らげる為にも、再度、同予算のプレミアム商品券を!コロナに負けるな!**プレミアム付き商品券をやってみたいかでしょうか?

答え 議員ご提案の「プレミアム付き商品券」につきましても、今後、市が行う、経済対策事業の一つの選択肢として、検討させて頂いているところでございます。

米井 皆様のご協力により、ワクチン接種が進み、その後の経済活動をスムーズに再開する為にも、今からの準備が必要と考えます。

~印西市独自のワクチン接種証明書(ワクチンパスポート)~

質問 米井:印西市独自で利用できるワクチン接種証明書を作成し、市民がそれを持つことにより、**ワクチン接種の啓発、集団免疫の促進**につながると思います。今後、教育・観光等多面でワクチン接種証明書の使用が始まると思われるが、印西市でも経済対策に生かせないだろうか?

答え 現在、このコロナ禍により、飲食店をはじめ多くの事業者の皆様が多大な影響を受けております。市民の皆様が安心して店舗等を利用することができ、またワクチンの接種率向上にもつながるような経済活性化の施策について、現在、

他市の事例や課題等も含めて、調査・情報収集などを行っているところでございます。

提案 米井:やれることから**試し、そしてやらなければ市民の皆さんの生活が改善されません。**今後、必ず国からの政策が示されるワクチン接種証明書案件。ワクチン接種の進捗状況を踏まえながら、ワクチン接種証明書を使いコロナ不況を抜け出していく政策は、まさしく印西市経済の**出口戦略**と思います。**是非、他市に先駆け検討をしていただきたい。**



松本ひさし氏を応援します!

自民党衆議院千葉県第13選挙区候補者(支部長)に

(元)日本医科大学千葉北総病院 副院長 救命救急センター長 **ドクターヘリ普及の第一人者 松本ひさし氏が就任しました。**

医療現場での33年間の知見を政策に活かし
国民が安心して頼れる医療体制をつくります。

プロフィール

1962 石川県金沢市生まれ
1987 金沢大学医学部医学科卒業
1994 医学博士取得(金沢大学)
2017 経営管理学修士(MBA)
(英国 Anglia Ruskin大学)

経歴

1987 金沢大学第2外科学教室入局
以後10年間にわたり外科医として勤務
2000 日本医科大学救急医学教室入局
2001 ドクターヘリ事業の開始
フライトドクターとして立ち上げに係わり
同事業を全国に普及させる
2008 ドラマ「コード・ブルー」の医療監修
2009 NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」出演
2011 東日本大震災にDMAT(災害派遣医療チーム)として福島県に出動
2014 日本医科大学教授に昇進
日本医科大学千葉北総病院 救命救急センターをわが国有数の救急医療施設に育て上げる
2020 千葉県医師会理事に就任
産経新聞「正論」執筆メンバーに加わる



医療の現場から
国政の現場へ

印西市議会議員

米井しげゆき

Shigeyuki Yonei

プロフィール

米井 重行(よねい しげゆき)
昭和49年7月21日 印西市武西生まれ
印西市立船穂小学校・中学校 卒業
千葉県立薬園台高等学校 卒業
印西市議会議員(2期連続トップ当選)

公職経歴
議会運営委員会 委員長
建設経済常任委員会 委員
印西地区衛生組合議会 議長

その他
自由民主党印西支部 青年部長
印西市造園組合 顧問
成田法人会青年部会 副部長
印旛沼土地改良区 総代
特別養護老人ホーム「ハートヴィレッジ」理事
エンジェルハート保育園 理事
印西ロータリークラブ 平成27年度会長
印西市消防団 団員
株式会社秋桜 顧問

10年先の印西を見据えて

活動配信中